

平成20年度  
大阪大学大学院  
高度副プログラム

大阪大学  
OSAKA UNIVERSITY

## 目次

1. 高度副プログラムとは	1
2. 履修対象者	1
3. 費用	1
4. 履修条件	1
5. プログラムの申請手続について	1
6. プログラムのカリキュラムについて	2
7. プログラム提供科目のシラバスについて	2
8. プログラム科目の履修手続について	2
9. プログラムの修了要件について	2
10. プログラムの修了について	4
11. 標準履修期間について	4
12. プログラム提案部局・連携部局について	4
13. 休講等の通知について	4
14. 大阪大学ホームページでの情報掲載について	4
15. 平成20年度高度副プログラム一覧表	5
16. プログラム紹介	6
・ ERASMUS MUNDUS 英語授業・現代日本論	6
・ 医科学修士の健康医療問題解決能力の涵養	7
・ まちづくりデザイン学	8
・ 環境リスク管理学	9
・ 応用自然言語処理理論と技術	10
・ グローバルリーダーシップ・プログラム	11
・ IT Spiral	12
・ 高度情報ネットワーク実践スペシャリスト	13
・ 臨床医工学・情報学融合領域の人材育成教育プログラム	14
・ コミュニケーションデザイン	15
・ 金融・保険	16
・ ナノサイエンス・ナノテクノロジー高度学際教育研究訓練プログラム (博士前期課程高度学際教育)	17
・ ナノサイエンス・ナノテクノロジー高度学際教育研究訓練プログラム (博士後期課程社会人特別選抜)	18
・ サステイナビリティ学	19

## 平成20年度大阪大学大学院高度副プログラムについて

### 1. 高度副プログラムとは

近年の学問分野の学際化・融合化により、幅広い分野の知識と柔軟な思考能力を持つ人材など社会において求められる人材の多様な要請に対応する取組として、教育目標にそって一定のまとまりのある授業科目により構成し、体系的に履修することのできるプログラムです。

プログラム毎に定める要件を満たすことで、所属する大学院の課程を修了（博士課程・博士後期課程の場合、単位修得退学を含む。）する際にプログラムの修了認定証が交付されます。

平成20年度は14のプログラムが開設されます。

### 2. 履修対象者

大学院学生（科目等履修生・特別聴講学生を除く。）

### 3. 費用

プログラムを履修することに対しては特別な費用はかかりません。ただし、プログラムの科目によっては、授業を受ける際に交通費などの実費がかかることがあります。

### 4. 履修条件

大阪大学大学院の課程に在学していることが必要です。その他、プログラム毎に履修条件や履修者数の制限を設ける場合もありますので、個々のプログラムの説明を参照してください。履修制限のないプログラムについては、所属研究科を問わず履修することができます。

なお、所属する研究科の提供するプログラムを履修することや複数のプログラムを同時に履修することも可能です。

プログラムの履修は学年を問いませんので、履修を希望する年度毎に登録することが可能です。ただし、博士前期・修士課程と博士後期・博士課程とでは、履修できるプログラムに違いがあります。詳しくはプログラム一覧表で確認下さい。

### 5. プログラムの申請手続について

プログラムの履修申請書を平成20年4月25日（金）までに所属している研究科の教務担当係に提出して下さい。ただし、プログラムによっては履修者の選考を行う等の理由により、提出先を別に指定するものもありますので各プログラムの説明をよくお読み下さい。

また、履修申請の仕方はプログラムによって様式や方法が違うことがありますのでご注意下さい。本冊子には各プログラムの申請書は添付していません。申請書はそれぞれのプログラム毎に異なりますので、プログラムの紹介冊子やWEBからダウンロードするなどプログラムの指定に従って下さい。

## 6. プログラムのカリキュラムについて

プログラム毎に提供する授業科目や修了要件単位数が決まっています。プログラムの提供する科目は、プログラム提案部局や連携部局等で開講する授業科目から構成されています。本冊子には、プログラムのカリキュラムについては記載していませんので、興味のあるプログラムについてはホームページ等を参照して下さい。

## 7. プログラム提供科目のシラバスについて

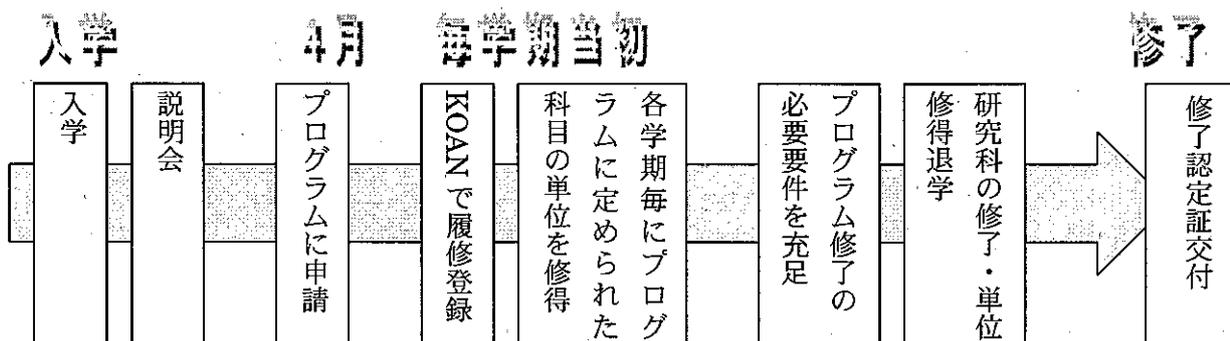
プログラムの提供する科目のシラバスは、各プログラムが発行する冊子等を参照するか KOAN のシラバスを検索して下さい。

## 8. プログラム科目の履修手続について

プログラム科目の履修は、各学期毎に KOAN を使用して当該学期に履修する授業科目の履修登録を行って下さい。

その他、プログラムによっては KOAN の履修登録以外に年度当初又は学期毎に履修するプログラム科目の申請が必要な場合もあります。各プログラムの指示に従って下さい。

## 履修の流れ



## 9. プログラムの修了要件について

プログラム毎に修了要件に違いがあります。本冊子には、プログラムの修了に必要な最低単位数を記載していますがプログラムによっては必修科目を設けたりコースを選択するなど条件に違いがあります。詳細については、各プログラムの紹介冊子等で確認して下さい。

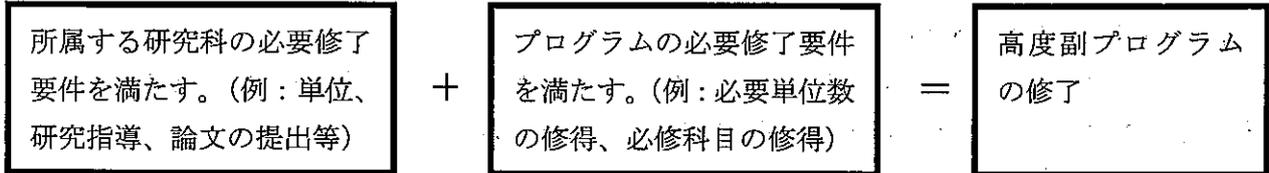
また、プログラムの修了に必要な単位と所属している研究科の専攻の修了に必要な単位との重複は認められます。ただし、所属する専攻の修了に必要な最低修得単位数以外に最低4単位は、当該プログラムの単位として修得する必要があります。専攻の修了に必要な単位として認められるかどうかは、所属する研究科の教務担当係に確認して下さい。

その他、プログラムの修了に必要な単位とその他の高度副プログラムの修了に必要な単位との重複も認められます。

【注意】

本プログラムは平成20年度から開始しますが、プログラムで定める授業科目を平成19年度以前に履修している場合は、既に修得している単位をプログラムの修了要件単位として認定される可能性があります。詳細については各プログラムに問い合わせして下さい。

(プログラム修了要件について)

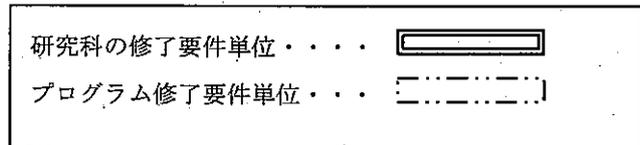


《プログラムの修了に必要な単位について》

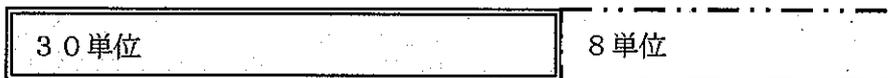
〈履修例〉

研究科の修了要件単位数：30単位

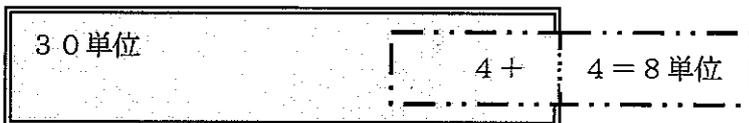
プログラム修了要件単位数：8単位



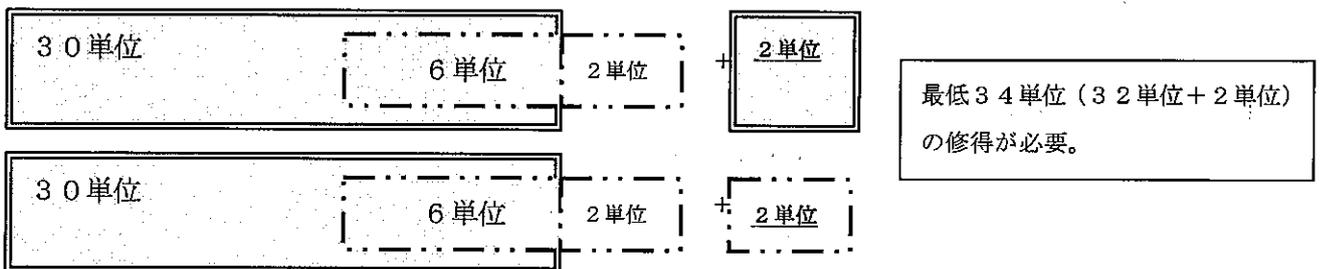
①研究科の修了要件科目とプログラムの修了要件科目が重複しない場合



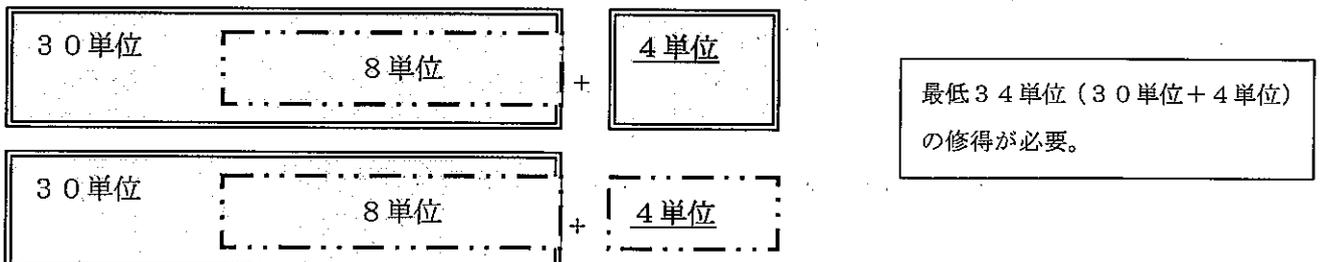
②プログラムの修了要件単位の内4単位が研究科の修了要件単位に認められる場合



③プログラムの修了要件単位の内6単位が研究科の修了要件単位に認められる場合



④プログラムの修了要件単位8単位が全て研究科の修了要件単位に認められる場合



#### 10. プログラムの修了について

プログラムの修了に必要な条件を全て満たすと、大学院の課程を修了するとき（博士後期・博士課程の学生は単位修得退学を含む）にプログラムの修了認定証を授与します。

修了認定証の交付は、所属する研究科の教務担当係より行われます。

#### 11. 標準履修期間について

それぞれのプログラム毎に設定している各プログラムの履修に無理のない期間のことをいいます。その期間内はプログラムの提供する授業科目の開講は保証されますが、それ以降はカリキュラムの変更等の理由で開講されない場合がありますのでご注意ください。

#### 12. プログラム提案部局・連携部局について

プログラム提案部局とは、高度副プログラムを企画し開講するそのプログラムに対して責任を持つ大阪大学の研究科などの組織（(注)を参照）をいいます。プログラムについて質問や連絡することがありましたら、そのプログラムの提案部局にある担当事務室にご連絡下さい。

また、連携部局とは1つのプログラムを複数の大阪大学の研究科などの組織が連携して開講する場合の提案部局以外の部局をいいます。それぞれのプログラムの連携部局がどういった役割を担うかは各プログラムによって違いがあります。

(注) ここでの部局とは、大阪大学の下記の組織を指します。

- ・研究科
- ・附置研究所
- ・学内共同研究教育施設
- ・全国共同利用施設
- ・ナノサイエンス・ナノテクノロジー研究推進機構
- ・サステイナビリティ・サイエンス研究機構

#### 13. 休講等の通知について

授業の休講やプログラムに関する通知等の連絡は、原則 KOAN により行うことになっています。プログラムによってメールアドレスやホームページを使用する場合がありますので、各プログラムの指示に従って下さい。

#### 14. 大阪大学ホームページの情報掲載について

大阪大学ホームページから「教育・研究活動」→「副専攻的な教育」の中に高度副プログラムについてのページを設けてあります。各プログラムのホームページへもリンクしています。

アドレス（ <http://www.osaka-u.ac.jp/jp/research/fukusenkou.html> ）

## 15. 平成20年度高度副プログラム一覧表

ページ 番号	プログラム名称	提案部局	連携部局	修了単位数	受講対象者
6	ERASMUS MUNDUS英語授業 ・現代日本論	文学研究科		8単位以上	M・D
7	医科学修士の健康医療問題解決能力の涵養	医学系研究科		8単位以上	M
8	まちづくりデザイン学	工学研究科	CSCD	8単位以上	M・D
9	環境リスク管理学	工学研究科		8単位以上	M
10	応用自然言語処理理論と技術	言語文化研究科		8単位以上	M・D
11	グローバルリーダーシップ ・プログラム	国際公共政策研究科		8単位以上	M・D
12	IT Spiral	情報科学研究科		14単位以上	M1
13	高度情報ネットワーク実践 スペシャリスト	情報科学研究科		8単位以上	M
14	臨床医工学・情報学融合領域の人材育成 教育プログラム	臨床医工学融合 研究教育センター	工学・基礎工・医学系・歯学 ・薬学・情報・実践・CSCD	9単位以上	M・D
15	コミュニケーションデザイン	コミュニケーションデザイン ・センター	文学・人間	8単位以上	M・D
16	金融・保険	金融・保険教育研究センター	経済・理学・基礎工・情報	8科目以上	M・D
17	ナノサイエンス・ナノテクノロジー 高度学際教育研究訓練プログラム (博士前期課程高度学際教育)	ナノサイエンス・ナノテクノロジー 研究推進機構	理学・工学・基礎工・医学系 ・薬学・生命・産研・接合・ 超高圧・極限・太陽	9単位以上	M
18	ナノサイエンス・ナノテクノロジー 高度学際教育研究訓練プログラム (博士後期課程社会人特別選抜)	ナノサイエンス・ナノテクノロジー 研究推進機構	理学・工学・基礎工・医学系 ・薬学・生命・産研・接合 ・超高圧・極限・太陽	9単位以上	D
19	サステナビリティ学	サステナビリティ・サイエンス 研究機構 サステナビリティ・デザイン センター	人間・経済・工学	8単位以上	M

### ※受講対象者

M・・・博士前期課程・修士課程・生命機能研究科博士課程1・2年生

D・・・博士後期課程・博士課程・生命機能研究科博士課程3年生以上

16. プログラム紹介

プログラム名称	ERASMUS MUNDUS 英語授業・現代日本論		
プログラム実施組織	文学研究科		
連携部局			
修了要件単位数	8単位以上	受講対象者	修士・博士
標準履修期間	2～3年	対象者制限の有無	有・無
プログラム概要及び教育目標	<p>エラスムス・ムンドゥス・マスター・プログラム(「ユーロカルチャー」)在籍の留学生を対象とする当プログラムに、本学在籍の留学生や留学を志す日本人学生が参加することにより、国際的な大学教育をめざす。授業はすべて英語で行われ、教員と学生の間、学生相互間でディスカッションを行うことにより、双方向的な授業を実施する。ヨーロッパ、アメリカ、アジアなどの諸外国との関係、交流、影響を視野に入れながら、特に「現代」を主題化しつつ、日本の文化、社会、歴史、芸術、文学、言語について学習する。毎年10月～12月にかけて5コマの授業を10回開講。授業時間以外に英語による文献を読むことが求められるとともに、交流会、見学会などを実施し、異なる文化のもとで生まれ育った学生同士のコミュニケーションおよび相互理解をめざす。日本人学生にとっては、英語を通じて、国際的見地から自らの文化、社会、歴史を相対化するとともに、英語による発言能力を養い、日本文化・歴史を理解可能なものとして発信することを学ぶことになる。</p>		
受講資格・条件	エラスムス・ムンドゥス・マスター・プログラム在籍の学生はTOEFL580点以上の成績の所持者であるため、それと見合う英語能力を有していること。		
出願・履修上の注意			
修了要件	3年以内に8単位を修得すること		
ホームページ・問い合わせ先等	<p>ホームページ: <a href="http://www.let.osaka-u.ac.jp">http://www.let.osaka-u.ac.jp</a>          問合せ先: 文学研究科教務係          e-mail: <a href="mailto:bunsouhakukyomu@ns.jim.osaka-u.ac.jp">bunsouhakukyomu@ns.jim.osaka-u.ac.jp</a></p>		
説明会の日程	なし		
特記事項			

プログラム名称	医科学修士の健康医療問題解決能力の涵養		
プログラム実施組織	医学系研究科・医科学専攻		
連携部局			
修了要件単位数	8 単位以上	受講対象者	修士
標準履修期間	1 年	対象者制限の有無	無
プログラム概要及び教育目標	<p>医療系の人材の育成には、人間社会の枠組みを律する人文社会科学系の知識・技能の教育が必要です。わが国では少子高齢社会を迎え、健康や医療問題が複雑化している現在、医科学の専門知識、技能の習得のみならず、健康医療の諸問題に対処し解決する能力が求められています。</p> <p>そこで、本教育プログラムは、大阪大学の新しい教育・研究体系としての主要プロジェクトの一つである文理融合の一環として、狭義の医学領域のみではなく、人文社会科学領域の基礎的知識を有し、倫理性、社会性、専門性、応用力、リーダーシップを兼ね備えた均衡のとれた研究者並びに専門職業人の育成に当たることを目的としています。具体的には、社会医学分野の講義として、以下の科目を選択科目として開講します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 健康政策学総論 (2 単位)</li> <li>2) 健康政策学各論 (2 単位)</li> <li>3) 疫学 (2 単位)</li> <li>4) 環境健康リスク論 (2 単位)</li> <li>5) 医事法 (2 単位)</li> <li>6) 知的財産権法 (2 単位)</li> <li>7) 医療経済・経営入門 (1 単位)</li> <li>8) 経済学・経営学の基礎理論 (1 単位)</li> <li>9) 国際感染症学 (2 単位)</li> <li>10) 法医学概論 (2 単位)</li> <li>11) 法臨床医学 (2 単位)</li> <li>12) 医療安全・リスクマネジメント学総論 (2 単位)</li> <li>13) 精神・身体健康増進医学各論 (2 単位)</li> </ol>		
受講資格・条件	博士前期課程在籍者		
出願・履修上の注意			
修了要件	本プログラムの修了要件は、上記の講義科目から 8 単位以上を修得することとします。		
ホームページ・問い合わせ先等	<a href="http://www.pbhel.med.osaka-u.ac.jp/master_course/index.html">http://www.pbhel.med.osaka-u.ac.jp/master_course/index.html</a> 大阪大学大学院医学系研究科公衆衛生学教室 Tel: 06-6879-3911		
説明会の日程	未定		
特記事項			

プログラム名称	まちづくりデザイン学		
プログラム実施組織	工学研究科		
連携部局	コミュニケーションデザイン・センター		
修了要件単位数	8 単位以上	受講対象者	修士 ・ 博士
標準履修期間	2 年	対象者制限の有無	有 ・ 無
プログラム概要及び教育目標	<p>【プログラム概要】</p> <p>本教育プログラムにおいては、まちづくりにおいて必要とされる、「かたち」「しくみ」「ところ」の形成のあり方に関するデザイン力を、生活の質の向上、産業の活性化、社会サービスの効果的な提供などの視点を組み込み、養うことを目指します。そのため、主に居住まちづくり、交通まちづくり、環境まちづくり系の諸科目を基礎として学び、具体の地域・まちづくりデザインにおいて、これらの要素を総合化するという授業体系を備えています。</p> <p>【教育目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①現実のまちが抱えている問題発見と課題抽出能力の養成</li> <li>②まちづくりデザインを構成する各分野における基礎的知識の習得</li> <li>③課題解決のための各分野における実践技術の習得</li> <li>④各分野における個別デザイン能力の養成</li> <li>⑤具体の地域における総合的デザイン能力の養成</li> </ol>		
受講資格・条件			
出願・履修上の注意	高度副プログラムの出願は、所属研究科を通して行う必要があります。		
修了要件	<p>本プログラムの科目から8単位以上取得することとします。ただし、「リノベーションまちづくりデザイン」は必修です。</p> <p>【工学研究科開講科目】(各科目2単位)</p> <p>交通・地域計画論、交通システム分析論、環境行動論、地域施設整備論、建築形態工学、都市空間文化論、共生都市環境論、共生環境デザイン論</p> <p>【CSCD開講科目】(各科目2単位)</p> <p>リノベーションまちづくりデザイン、交通まちコミュニケーション概論</p>		
ホームページ・問い合わせ先等	<p>工学研究科地球総合工学専攻 教授 新田保次(にった やすつぐ)</p> <p>nitta@civil.eng.osaka-u.ac.jp</p> <p>同専攻 助教 猪井博登(いのい ひろと) inoi@civil.eng.osaka-u.ac.jp</p> <p>〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-1</p> <p>TEL:06-6879-7608、7609 FAX:06-6879-7612</p> <p>URL: <a href="http://www.civil.eng.osaka-u.ac.jp/plan/machidukuri/sub-major.htm">http://www.civil.eng.osaka-u.ac.jp/plan/machidukuri/sub-major.htm</a></p>		
説明会の日程	平成 20 年 4 月 9 日 14:40～(吹田)コンベンションセンター1F研修室		
特記事項			

プログラム名称	環境リスク管理学		
プログラム実施組織	工学研究科		
連携部局			
修了要件単位数	8単位以上	受講対象者	修士・博士
標準履修期間	1年	対象者制限の有無	有・無
プログラム概要及び教育目標	<p>高度副プログラム「環境リスク管理学」は、学術横断的な分野の講義を通じて、環境リスク管理に関する知識と実践力を獲得させ、環境リスク管理分野における研究者および実務家を養成する教育プログラムです。</p> <p>温暖化による気候変動への対応、ナノ・化学物質の戦略的管理など、現代社会の急速な高度技術化による社会の変化に伴って生じる環境リスク事象に対して、我々がいかに対応すべきかが今問われています。これらの環境リスクへの対応には総合的かつ分野横断的なアプローチが求められるため、細分化された個別の知識ではなく、俯瞰的視野を持ってリスク感性を研ぎすませることが重要です。本プログラムでは、環境リスク管理の知識と技能、高いリスク感性を持ち、企業と組織および社会において必要とされている実践的人材を養成することを目的としています。</p> <p>本プログラムの講師は、文部科学省科学技術振興調整費「環境リスク管理のための人材養成プログラム」でも実績の多い第一線のリスク研究者で構成されており、環境リスクに関する実践の現場を体験することができます。</p>		
受講資格・条件	課題対処の方法を専門領域にとらわれず探求し、責任をもって解決に導いていくことのできる柔軟性と意欲を持った人を歓迎します。		
出願・履修上の注意	高度副プログラムへの出願は所属研究科を通して行う必要があります。		
修了要件	履修 8 単位のうち 4 単位以上は修士課程修了要件以外の単位として履修する必要があります。		
ホームページ・問い合わせ先等	<p>大阪大学大学院工学研究科  環境・エネルギー工学専攻 盛岡研究室  ○「環境リスク管理のための人材養成」プログラム  担当：松井 孝典(まつい たかのり)、織田 朝美(おりた あさみ)  〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-1 大阪大学工学部環境工学棟(S4)  TEL: 06-6879-4733 FAX: 06-6879-7678  E-mail: risk-office@em.see.eng.osaka-u.ac.jp  <a href="http://risk.see.eng.osaka-u.ac.jp/index.html">http://risk.see.eng.osaka-u.ac.jp/index.html</a></p>		
説明会の日程	平成 20 年 4 月 7 日 10:50～(豊中)基礎工学部国際棟Σ(シグマ)ホール 平成 20 年 4 月 9 日 14:40～(吹田)コンベンションセンター1F 研修室		
特記事項	<p>高度副プログラム「環境リスク管理学」の科目は、大阪大学「環境リスクマネージャ養成プログラム」の講義の一部から構成されています。環境リスクマネージャ養成プログラムは日本リスク研究学会にプログラム認定されており、意欲のある方はさらに単位取得や論文作成などの修了要件を満たすことで日本リスク研究学会に「リスクマネージャ(環境)」として登録する事が可能です。詳しくはウェブサイト(<a href="http://risk.see.eng.osaka-u.ac.jp">http://risk.see.eng.osaka-u.ac.jp</a>)をご参照頂くか、事務局までお問い合わせ下さい。</p>		

プログラム名称	応用自然言語処理理論と技術																																										
プログラム実施組織	言語文化研究科 言語文化専攻																																										
修了要件単位数	8 単位以上	受講対象者	修士・博士																																								
標準履修期間	1 年	対象者制限の有無	無																																								
プログラム概要及び教育目標	<p>現在、インターネットの普及と拡張により、電子化された自然言語のテキストの量が爆発し続けています。その結果、自然言語を処理する技量が社会的にも、経済界でも必要とされています。この事態は、逆に、自然言語を直観だけに頼ってきた分析手法に代わって、電子化された自然言語をあらゆる角度から処理・分析する手法に基づいて、自然言語を研究するという観点の追い風ともなっています。</p> <p>本プログラムでは、理科系的な自然言語処理の基礎理論と技術・その関連情報の教育と、文科系的な自然言語処理・分析技術であるコーパス言語学を教育するという二つの大きな自然言語分析のアプローチを教育・習熟させることを目的とし、社会的必要性を満たす人材育成を目指します。</p> <p>具体的には、形式言語理論や形式論理に基づいた統語処理・意味処理・談話処理の基礎理論とその具体的な計算機におけるプログラミング技術・既存の言語処理ツールなどの教育と、コーパスの作成・使用・処理技術、統計処理技術の教育をし、結果的に、受講生は両方の基礎理論と技術を自分や社会のニーズに合わせて実践できるようになります。</p>																																										
受講資格・条件	無し																																										
出願・履修上の注意	本プログラムの申請様式は ( <a href="http://www.lang.osaka-u.ac.jp/...">http://www.lang.osaka-u.ac.jp/...</a> ) からダウンロード可能です。																																										
修了要件	言語情報科学論A・Bもしくは自然言語処理A・Bから2単位以上及びコーパス言語学研究A・Bから2単位以上を取得すること。																																										
問い合わせ先	言語文化研究科大学院係(豊中キャンパス) TEL 06(6850)5856 メールアドレス in@lang.osaka-u.ac.jp																																										
特記事項	<p>プログラムに該当する授業の内容は、KOANのシラバスと各授業の第1回目の授業にガイダンスがありますので、それを参考にしてください。</p> <p>なお、該当授業と講師、その第一回目の授業日・場所( )の予定は以下のとおりです。</p> <table border="1"> <tr> <td>自然言語処理A</td> <td>林良彦</td> <td>月曜5限</td> <td>4/7</td> <td>(第4演習室)</td> </tr> <tr> <td>自然言語処理B</td> <td>林良彦</td> <td>月曜5限</td> <td>10/6</td> <td>(第4演習室)</td> </tr> <tr> <td>言語情報科学論A</td> <td>緒方典裕</td> <td>月曜3限</td> <td>4/7</td> <td>(緒方研究室)</td> </tr> <tr> <td>言語情報科学論B</td> <td>緒方典裕</td> <td>月曜3限</td> <td>10/6</td> <td>(緒方研究室)</td> </tr> <tr> <td>コーパス言語学研究A</td> <td>岩根久</td> <td>木曜1限</td> <td>4/10</td> <td>(映像情報処理システム室)</td> </tr> <tr> <td>コーパス言語学研究B</td> <td>岩根久</td> <td>木曜1限</td> <td>10/9</td> <td>(映像情報処理システム室)</td> </tr> <tr> <td>コーパス言語学研究A</td> <td>田畑智司</td> <td>火曜3限</td> <td>4/8</td> <td>(言語情報科学講座LLシステム室)</td> </tr> <tr> <td>コーパス言語学研究B</td> <td>田畑智司</td> <td>火曜3限</td> <td>10/8</td> <td>(言語情報科学講座LLシステム室)</td> </tr> </table>			自然言語処理A	林良彦	月曜5限	4/7	(第4演習室)	自然言語処理B	林良彦	月曜5限	10/6	(第4演習室)	言語情報科学論A	緒方典裕	月曜3限	4/7	(緒方研究室)	言語情報科学論B	緒方典裕	月曜3限	10/6	(緒方研究室)	コーパス言語学研究A	岩根久	木曜1限	4/10	(映像情報処理システム室)	コーパス言語学研究B	岩根久	木曜1限	10/9	(映像情報処理システム室)	コーパス言語学研究A	田畑智司	火曜3限	4/8	(言語情報科学講座LLシステム室)	コーパス言語学研究B	田畑智司	火曜3限	10/8	(言語情報科学講座LLシステム室)
自然言語処理A	林良彦	月曜5限	4/7	(第4演習室)																																							
自然言語処理B	林良彦	月曜5限	10/6	(第4演習室)																																							
言語情報科学論A	緒方典裕	月曜3限	4/7	(緒方研究室)																																							
言語情報科学論B	緒方典裕	月曜3限	10/6	(緒方研究室)																																							
コーパス言語学研究A	岩根久	木曜1限	4/10	(映像情報処理システム室)																																							
コーパス言語学研究B	岩根久	木曜1限	10/9	(映像情報処理システム室)																																							
コーパス言語学研究A	田畑智司	火曜3限	4/8	(言語情報科学講座LLシステム室)																																							
コーパス言語学研究B	田畑智司	火曜3限	10/8	(言語情報科学講座LLシステム室)																																							

[注] 第4演習室(508室)は言語文化研究科棟(新棟)5階、映像情報処理システム室は6階(607室)、緒方研究室(301室)及び言語情報科学講座LLシステム室(307室)は言語文化研究棟(旧館)3階です。

プログラム名称	グローバルリーダーシップ・プログラム		
プログラム実施組織	国際公共政策研究科		
連携部局			
修了要件単位数	8単位以上	受講対象者	修士・博士
標準履修期間	1年	対象者制限の有無	有・無
プログラム概要及び教育目標	<p>グローバルリーダーシップ・プログラムでは、連携分野を通じた社会学連携を最大限に活用しつつ、国際機関、行政機関、外交、政治、企業で実際にリーダーとして活躍してきた人材を講師に迎え、対話的授業(ソクラティックメソッド)、ケーススタディやインターンシップ、合宿および他大学との合同模擬事例演習などの実践的教育方法と、音楽や伝統芸、演劇を利用した新しい刺激的な学習方法を併用し、リーダーシップや交渉に関する理論と実践を身につけることを目的とします。よき交渉やリーダーシップのためには継続的練習(習慣づけ)が必要であるので、将来的には卒業生や一般市民に対する継続的な教育プログラムも提供する予定です。</p> <p>このプログラムは、法学、政治学、経済学など公共政策に関わる学問を主たる専門分野とするかまたは公共政策に関心のある学生が、環境、開発、人権や国際紛争など、国境を越える公共価値を実現し、公共に関わる困難な問題を解決することができるように、人びとに気づきと学習をうながすような「アートArt」としてのコミュニケーションとリーダーシップを教育することを目標とします。</p>		
受講資格・条件	<p>科目によっては、事前課題の提出、受講者人数の上限が定められる場合があります。正当な理由なく遅刻欠席をしないことが単位取得要件とされる場合があります。それぞれの科目ごとの受講要件は、シラバスを参照してください。</p>		
出願・履修上の注意	<p>2 学期開講の「実践グローバルリーダーシップ」の履修のためには、1 学期開講の「リーダーシップを考える」の受講をすすめます。1 学期開講集中講義「リーダーシップデザイン」の受講者にも、「リーダーシップを考える」の受講をすすめます。その他については各講義のシラバスを参照してください。</p>		
修了要件	必修科目「リーダーシップを考える」及び「実践グローバルリーダーシップ」を履修すること		
ホームページ・問い合わせ先等	<p>国際公共政策研究科 (OSIPP) 交渉教育支援センター http://www.osipp.osaka-u.ac.jp/leader/index.html E-mail) negotcenter@osipp.osaka-u.ac.jp 直通：06-6850-5629 内線 5629</p>		
説明会の日程	リーダーシップを考える第1回講義(4月8日13時より)。		
特記事項			

プログラム名称	IT Spiral		
プログラム実施組織	情報科学研究科		
連携部局			
修了要件単位数	14単位以上	受講対象者	修士・博士
標準履修期間	1年	対象者制限の有無	有・無
プログラム概要及び教育目標	<p>ITSpiralは、世界最高水準のソフトウェア技術者育成システムの構築を目的とする「文部科学省：先導的ITスペシャリスト育成推進プログラム」の一環として、平成18年10月から3年半の計画でスタートしたプロジェクトです。</p> <p>ITSpiralでは、情報通信技術、特にソフトウェアの高度な技術者育成を目指しています。この実現のために、ソフトウェア分野で修得すべき内容をより豊富かつ体系的・実践的に教育課程に取り組むべく、関西圏の9大学情報系研究科に分散している卓越した専門家群の力を集結し、融合連携型の専攻を構築しています。また、実践的教育を重視しており、高度な技術力を持つ企業と協働することにより、現実の開発プロジェクトを教材とした教育を実現しています。</p> <p>ITSpiralを通じて高い能力を有するソフトウェア技術者を育成していくことにより、幅広いソフトウェア設計の知識を持ち、実践的な開発演習を経験した修士課程学生を継続的に輩出することができますし、また、日本のソフトウェア産業の競争力向上にも貢献しています。</p> <p>授業は、基礎科目(2科目4単位以上を取得)、先端科目(2科目4単位以上を取得)、実践科目(全科目=3科目6単位)から構成されます。</p>		
受講資格・条件	<p>博士前期課程1年生(他学年の希望者はIT Spiral事務局まで問い合わせてください)  ※募集者が多数の場合は、情報科学研究科 ITSpiral 事務局で選考し、受講者を決定します。</p> <p>先端科目、実践科目については、ITSpiral プログラムに選ばれた学生のみ受講が認められます。なお、先端科目、実践科目はそれぞれ単独で受講することはできませんので、注意してください。</p>		
出願・履修上の注意	<p>基礎科目、先端科目、実践科目、その他詳細については、IT Spiral のパンフレットを参照してください。(パンフレットはIT Spiral 事務局にあります。)</p>		
修了要件			
ホームページ・問い合わせ先等	<p>IT Spiral 事務局  電話 :06-6850-6342 Fax :06-6850-6574  e-mail: info-it-spiralist.osaka-u.ac.jp  http://it-spiral.ist.osaka-u.ac.jp/</p>		
説明会の日程	<p>平成20年4月4日(金) 大学院情報科学研究科入学ガイダンス  但し、他研究科の学生は、IT Spiral 事務局に問い合わせてください。</p>		
特記事項	なし		

プログラム名称	高度情報ネットワーク実践スペシャリスト		
プログラム実施組織	情報科学研究科		
連携部局			
修了要件単位数	8単位以上	受講対象者	博士前期課程(修士)
標準履修期間	2年	対象者制限の有無	無
プログラム概要及び教育目標	<p>高度副プログラム「高度情報ネットワーク実践スペシャリスト」は、大阪大学の大学院生に対して、情報ネットワークに関する高度で実践的な教育プログラムを提供するものです。本プログラムは、高度な情報ネットワークの基盤技術やサービス技術の教育を提供し、情報ネットワーク分野における実践的なソフトウェア開発等も可能なスペシャリスト養成を目的とします。本プログラムでは、以下のような先進的なネットワーク技術に関する教育を提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 超高速ネットワーク構成技術</li> <li>- マルチメディアネットワーク技術</li> <li>- モバイル通信プロトコル技術</li> <li>- 情報流通プラットフォーム技術</li> <li>- ネットワークソフトウェア技術</li> <li>- ネットワークプログラミング技術</li> <li>- ネットワーク分析技術</li> </ul> <p>なお、本プログラムは、本研究科が実施してきた大学院教育イニシアティブ「ソフトウェアデザイン工学教育プログラム」を発展させたプログラムのひとつでもあります。</p>		
受講資格・条件			
出願・履修上の注意	別途、KOAN の掲示板機能で通知します。		
修了要件	指定された授業科目より 8 単位以上を修得してください。また、「実践エンタープライズシステム開発」または「実践組込み開発」のいずれかを必ず修得してください。		
ホームページ・問い合わせ先等	<p>大学院情報科学研究科 情報ネットワーク学専攻  大崎 博之 准教授  Tel: 06-6879-4551, Fax: 06-6879-4554  E-mail: oosaki@ist.osaka-u.ac.jp</p>		
説明会の日程	平成 20 年 4 月 4 日(金) 大学院情報科学研究科 専攻別ガイダンス なお、他専攻・他研究科の学生は、上欄に問い合わせてください。		
特記事項	なし		

プログラム名称	臨床医工学・情報学融合領域の人材育成教育プログラム		
プログラム実施組織	臨床医工学融合研究教育センター		
連携部局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医学系研究科</li> <li>・歯学研究科</li> <li>・薬学研究科</li> <li>・工学研究科</li> <li>・基礎工学研究科</li> <li>・情報科学研究科</li> <li>・大学教育実践センター</li> <li>・コミュニケーションデザイン・センター</li> </ul>		
修了要件単位数	9単位以上	受講対象者	修士・博士
標準履修期間	1年	対象者制限の有無	有・無
プログラム概要及び教育目標	<p>高度先進医療福祉社会を築くことは、我が国の緊急課題です。そのためには、新規融合科学である「臨床医工学・情報科学融合領域」の社会に適した発展が必須であり、決定的に不足しているこの領域の人材を育成することが急務となっています。本プログラムは、大学院博士課程学生を対象に、最先端の工学・情報科学と医学・医療の双方に精通し、社会ニーズ・医療ニーズ・患者ニーズを理解した医療技術者など、この領域の高度技術者を育成することを目的とします。具体的には、次の4つの専門コースと1群の共通科目、および入門コースを設定し、必要なカリキュラムを専門コースごとに構成します。</p> <p>(1) バイオメディカルインフォマティクス  (2) バイオマテリアル学  (3) 高度診断治療学  (4) 分子イメージング</p>		
受講資格・条件			
出願・履修上の注意	<p>KOANに加えて、本センターホームページ上でも、履修登録を行う必要があります。氏名、電話番号、メールアドレス、履修希望の本プログラム授業科目名を本センターに登録いただき、本プログラムの履修者としたします。氏名、電話番号、メールアドレス等は授業等で連絡が必要な場合に利用いたします。</p>		
修了要件	<p>本プログラムの修了要件は、  ①1つのコースの中から、講義科目 8 単位以上、および ②演習・実習科目から 1 単位以上を修得することとします。ただし、①については、8 単位のうち 4 単位以上は所属研究科外(医学系研究科においては医科学専攻と保健学専攻は別研究科とみなします)の講義科目とします。  共通科目および入門コースについては、コース修了要件としてはそれぞれ 2 単位までを認定することとします。</p>		
ホームページ・問い合わせ先等	<p>詳細はMEIセンターホームページをご覧ください。  <a href="http://www.mei.osaka-u.ac.jp/">http://www.mei.osaka-u.ac.jp/</a></p>		
説明会の日程	未定		
特記事項			

プログラム名称	コミュニケーションデザイン		
プログラム実施組織	コミュニケーションデザイン・センター		
連携部局	文学研究科・人間科学研究科		
修了要件単位数	8単位以上	受講対象者	修士・博士
標準履修期間	2年	対象者制限の有無	有・無
プログラム概要及び教育目標	<p>本プログラムは、文系、理工系、医科学系の大学院生の混成による教育を基本とし、異なる専門性のあいだの相互理解、自らの専門性の特質の理解、社会とのコミュニケーションの必要性の理解の獲得を目指します。またプログラムを通じて、インタラクティブな講義や実習、各種ワークショップ形式を組み込み、座学による知識の習得とは異なる観点からの教育を行います。</p>		
受講資格・条件	なし		
出願・履修上の注意	<p>本プログラムの履修希望者は、CSCD ホームページに掲載の「履修申請書」をダウンロードし必要事項記入のうえ、所属研究科の大学院担当窓口へ指定された期間内に提出してください。</p>		
修了要件	<p>本プログラム修了には、基礎科目・選択必修科目・発展科目の3段階で構成される8単位以上の取得が必要です。基礎科目は「メディア技法と表現リテラシー」(1・2学期開講、2単位)、選択必修科目はCSCD および連携部局(文学研究科・人間科学研究科)が提供する科目の中から4単位以上を履修してください。基礎科目と選択必修科目の合計6単位以上を取得後の次学期から発展科目「領域横断・演劇創造ゼミナール」(1・2学期開講、2単位)を履修できます。</p> <p>本プログラムの修了に必要な単位と所属専攻の修了に必要な単位との重複が認められるかどうかは、研究科・部局によって異なります。履修希望者は、事前に指導教員や所属研究科の大学院担当窓口にも必ず相談してください。</p>		
ホームページ・問い合わせ先等	<p>CSCD ホームページ：<a href="http://www.cscd.osaka-u.ac.jp/">http://www.cscd.osaka-u.ac.jp/</a>  問い合わせ先：コミュニケーションデザイン・センター事務部 教務担当  Tel:06-6816-9494(直通のみ)  E-mail:cscd@ns.jim.osaka-u.ac.jp</p>		
説明会の日程	<p>CSCD が提供する科目の第1回目の授業の際に、各担当教員が説明を行います。</p>		

プログラム名称	金融・保険		
プログラム実施組織	金融・保険教育研究センター（CSFI）		
連携部局	基礎工学研究科，経済学研究科，理学研究科，情報科学研究科		
修了要件単位数	8科目以上（16単位相当以上）	受講対象者	<input type="checkbox"/> 修士 ・ <input type="checkbox"/> 博士
標準履修期間	スタンダードプログラム：2年 アドバンスプログラム：3年	対象者制限の有無	有 ・ <input type="checkbox"/> 無
プログラム概要及び教育目標	<p>実施組織の大阪大学 金融・保険教育研究センター（CSFI）は，文部科学省特別教育研究経費（連携融合）に採択されました“新領域分野「金融・保険科学」に関する文理融合型教育プログラムの開発”の実施母体として，2006年4月に発足しました。高度副プログラム（金融・保険）は，極めて高度化・複雑化した金融・経済システムにおいて求められる，金融・保険に関わる学際的分野でのスペシャリストを育成することを目標にして，CSFIが，基礎工学研究科，経済学研究科，理学研究科，情報科学研究科の4研究科を学内連携部局，多くの民間および公的な金融機関を学外連携協力機関とした支援のもとで提供する文理融合型教育プログラムです。修士課程レベルに対応する〔S〕スタンダードプログラム，博士課程レベルに対応する〔A〕アドバンスプログラムを持ち，さらにそれらは，それぞれ，（M）数理計量ファイナンスコース，（E）金融経済・工学コース，（I）インシュアランス・コースの3つのコースに分かれています。最新の学術的発展をも踏まえた先端的教育に加えて，実務家教員による実務教育にも力を入れています。</p>		
受講資格・条件			
出願・履修上の注意	<p>下記のCSFIのWebsiteにある履修申請書をダウンロードし，必要事項を記入したうえで，豊中キャンパス基礎工J棟1階106 CSFI事務室に，平成20年4月25日（金）までに提出下さい。エントリー（履修申請）受付は年2回あります。一度エントリー（履修申請）すれば年度を超えて在学期間中有効です。次回10月のエントリー情報はCSFIホームページに掲載します。</p>		
修了要件	<p>スタンダードプログラム修了要件：基礎科目（必修をすべて含む）2科目以上，専門科目（必修をすべて含む）4科目以上，計8科目以上（16単位相当）を取得すること。 アドバンスプログラム修了要件：特別科目6科目以上，計8科目以上（16単位相当）を取得すること。 ※1. 各コースの科目の分類については，下記のCSFIのWebsiteにあるカリキュラム表を御覧下さい。</p>		
ホームページ・問い合わせ先等	<p>大阪大学 金融・保険教育研究センター（CSFI） 所在地：〒560-8531 大阪府豊中市待兼山町 1-3 Phone: (06) 6850-6091 Fax: (06) 6850-6092 Website: www-csfi.sigmath.es.osaka-u.ac.jp E-mail: csfi-questions@sigmath.es.osaka-u.ac.jp</p>		
説明会の日程	平成20年4月7日（月），午後6時～，豊中キャンパス法・経講義棟1階第1講義室にて，オリエンテーションを開催します。		
特記事項	最新の情報については上記のWebsiteを御覧下さい。		

プログラム名称	ナノサイエンス・ナノテクノロジー高度学際教育研究訓練 プログラム(博士前期課程高度学際教育) (略称:「ナノ高度学際教育研究訓練(前期課程)」)		
プログラム 実施組織	ナノサイエンス・ナノテクノロジー研究推進機構		
連 携 部 局	理学研究科, 医学系研究科, 薬学研究科, 工学研究科, 基礎工学研究科, 生命機能研究科, 産業科学研究所, 接合科学研究所, 超高圧電子顕微鏡センター, 極限量子科学研究センター, 太陽エネルギー化学研究センター		
修了要件単位数	9単位以上	受講対象者	<input checked="" type="checkbox"/> 修士 ・ 博士
標準履修期間	1 年	対象者制限 の有無	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
プログラム概要 及び教育目標	<p>大阪大学大学院の各部局で従来個別に実施してきた学際性の極めて強いナノサイエンス・ナノテクノロジーに関連する大学院講義を部局横断型に再編統合し、複数の高度学際教育プログラムを編成してあります。これらの高度学際教育プログラムの履修を通じて、従来の専門領域に加えてナノサイエンス・ナノテクノロジーの体系化された幅広い知識を修得させ、よって有能なナノ関連分野の研究開発能力を持つ人材を育成することを目的とします。</p> <p>カリキュラム構成は、ナノサイエンス・ナノテクノロジーに関わる学生が広く聴講すべき講義群を、基盤講義(基盤講義群)、個々の分野の専門性が強い講義(専門講義群)、及び、研究者として巣立つための講義群(アドバンス講義群)に分類して、これに社会におけるナノテクノロジーの活用事例や社会受容における課題を講義するナノテクキャリアアップ特論(必修科目, 吹田・豊中遠隔中継)を加えて、全学の学生に対して履修を推奨します。このプログラムでは講義のみならず、主に夏期集中で部局横断的な演習, 実験を含めた高度実習訓練(約30課題)を行うことを特徴としています。</p> <p>大学院博士前期課程向けの高度学際教育プログラムとして、以下の5つのプログラムを平成20年度に実施します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① ナノマテリアル・ナノデバイスデザイン学</li> <li>② ナノエレクトロニクス・ナノプロセス学</li> <li>③ 超分子ナノバイオプロセス学</li> <li>④ ナノ構造・機能計測解析学</li> <li>⑤ ナノフォトニクス学</li> </ol>		
受講資格・条件	大阪大学大学院博士前期課程在籍者		
出願・履修上の 注意	所属研究科の専攻カリキュラム(主専攻)の履修計画, 本プログラム履修科目が開設される施設への移動時間を考慮の上, 無理のないナノ学際教育研究訓練プログラムの履修計画を立てて下さい。出願には所定の用紙を使用下さい。		
修了要件	本プログラム修了認定には, 1つのプログラムの中から講義科目8単位(うち所属の専攻または領域の授業科目にない講義科目4単位以上を含む), および集中実習科目1単位以上を修得する必要があります。ただし, 修得した単位(「ナノテクキャリアアップ特論」, 「集中実習科目」を含む)のうち最低4単位は, 所属研究科の修了に直接関わらない単位として修得する必要があります。		
ホームページ・ 問い合わせ先等	<p>本プログラムの全般についての問い合わせは, ナノプログラム事務局へ行って下さい。電子メールの際には, 必ず所属研究科・専攻・研究室名, 履修プログラム名を記載して下さい。</p> <p>ナノプログラム事務局: 豊中地区 基礎工学研究科G棟1階104号室(G104) メールアドレス: nano-program@nano.sigma.es.osaka-u.ac.jp TEL: 06-6850-6398 ホームページ: <a href="http://www.sigma.es.osaka-u.ac.jp/pub/nano/">http://www.sigma.es.osaka-u.ac.jp/pub/nano/</a> 内線(6398)</p>		
説明会の日程	<p>豊中キャンパス 平成20年4月 9日(水) 基礎工学研究科G516 12:10~12:50 吹田キャンパス 平成20年4月10日(木) 工学研究科U3-211 12:10~12:50</p>		
特記事項	2年度にまたがる履修を認めます。		

プログラム名称	ナノサイエンス・ナノテクノロジー高度学際教育研究訓練 プログラム(博士後期課程社会人特別選抜) (略称:「ナノ高度学際教育研究訓練(後期課程社会人)」)		
プログラム 実施組織	ナノサイエンス・ナノテクノロジー研究推進機構		
連携部局	理学研究科, 医学系研究科, 薬学研究科, 工学研究科, 基礎工学研究科, 生命機能研究科, 産業科学研究所, 接合科学研究所, 超高圧電子顕微鏡センター, 極限量子科学研究センター, 太陽エネルギー化学研究センター		
修了要件単位数	9単位以上	受講対象者	修士 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 博士
標準履修期間	1年	対象者制限 の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
プログラム概要 及び教育目標	<p>博士課程におけるプログラムでは, 将来の研究リーダーとして, ナノ関連の複数分野の最新科学技術を選択的に導入し統合する能力と見識の涵養, 技術の社会受容の重要性を十分に認識した研究の立案や推進などの研究統括能力の育成を目指しています。そこで, ナノサイエンス・ナノテクノロジー関係に現在従事しているか, 将来従事したいと考えている社会人特別選抜学生が, 主専攻以外に付加価値としてナノテクの深化や多様化について副専攻的に受講することは, 上記の視点で大いに役立つものと考えられます。また, 社会人DCの場合, 遠隔地勤務ではスクーリングによる講義受講・討論等は難しく, 遠隔講義システムによるサテライト教室での受講は本人の負担を軽減することにも繋がります。</p> <p>そこで, 本プログラムでは, 現在社会人再教育向けに平日夜間に開講されている講義群を社会人特別選抜学生にも開放し, 下記5コースの中から1つのコースを選んで遠隔受講を許可し, 合わせて, 大学院前期課程向けナノテクキャリアアップ特論(PCによる録画受信)も聴講可とする副プログラムを開講します。</p> <p>① ナノマテリアル・ナノデバイスデザイン学 ② ナノエレクトロニクス・ナノプロセス学 ③ 超分子ナノバイオプロセス学 ④ ナノ構造・機能計測解析学 ⑤ ナノフォトニクス学</p>		
受講資格・条件	大阪大学大学院博士後期課程に在学する社会人特別選抜学生を対象とし, 職場の関係で来学が困難な者が遠隔講義システムを利用してサテライト教室にてライブ受講することが条件です。		
出願・履修上の 注意	希望者は本プログラムの趣旨とテーマ内容の概要を参考にして, 課題内容, サテライト教室の地域, 履修条件などの詳細をホームページ上で必ず確認の上, 出願して下さい。東京, 京阪奈, 大阪以外の地域を希望する人は事前に下記問い合わせ先に相談して下さい。出願用紙は事務局に請求下さい。		
修了要件	本プログラムの修了認定には, 以下のプログラム群から1つのプログラムを選び, スクーリング集中実習を含めて9単位以上を修得することが必要です。ただし, 集中実習は, ナノテクキャリアアップ特論に代えることができます。なお, 修得した単位のうち最低4単位は, 所属研究科の修了に直接関わらない単位として修得する必要があります。		
ホームページ・ 問い合わせ先等	<p>本プログラムの全般についての問い合わせは, ナノプログラム事務局へ行って下さい。電子メールの際には, 必ず所属研究科・専攻・研究室名, 履修プログラム名を記載して下さい。</p> <p>ナノプログラム事務局: 豊中地区 基礎工学研究科G棟1階104号室(G104) メールアドレス: nano-program@nano.sigma.es.osaka-u.ac.jp TEL: 06-6850-6398 ホームページ: <a href="http://www.sigma.es.osaka-u.ac.jp/pub/nano/">http://www.sigma.es.osaka-u.ac.jp/pub/nano/</a> 内線(6398)</p>		
説明会の日程	4月4日より開講のため, 事前説明会は開催しませんので, 随時ナノプログラム事務局へ問い合わせして下さい。講義内容等は, ナノプログラムのホームページ上に掲載されている社会人再教育の項を参照して下さい。		
特記事項	2年度にまたがる履修も認めます。		

プログラム名称	サステナビリティ学		
プログラム実施組織	サステナビリティ・サイエンス研究機構(RISS) サステナビリティ・デザイン・センター(SDC)		
連携部局	工学研究科、経済学研究科、人間科学研究科		
修了要件単位数	8単位以上	受講対象者	修士・博士
標準履修期間	1年	対象者制限の有無	有・無
プログラム概要及び教育目標	<p>現在の様々な地球規模の問題は、地球システム(資源・エネルギー生態系など)、社会システム(経済、政治、産業構造、技術体系など)、人間システム(ライフスタイル、健康、安全、価値観等)の3つのシステムの相互破綻に起因します。サステナビリティ学はそれらのメカニズムを解明し、持続可能性に関わる諸課題・側面を包括的に究明する学術体系です。本プログラムでは、サステナビリティ学を学ぶことで、サステナビリティ問題に関する広い視野と知識を身につけ、各個人が持つ専門知識をその解決に生かす能力の修得を目的とします。</p> <p>プログラム内容は、RISSの兼任教員を中心とした教授陣による科目群で構成されています。先導科目(必修)では、エクスカージョンやディスカッションなどを設け、理論のみではなく実践力を身につけさせる構成としています。</p> <p>また、将来的には、東京大学や京都大学などのサステナビリティ学連携研究機構(IR3S)の大学間での単位互換を可能にすることによって、アジア初のサステナビリティ学教育プログラム連携を目指しています。</p>		
受講資格・条件	<p>全学からの学生の参加を歓迎しますが、サステナビリティ学を学ぶ意欲が重要となります。また、一部の科目・授業は英語で行われます。カリキュラム科目群に関しては、内容や講師の変更等で年度によっては変更の可能性がありますので、ご注意ください。</p>		
出願・履修上の注意	<p>高度副プログラムへの出願は所属研究科を通して行う必要があります。</p>		
修了要件	<p>1. サステナビリティ学科目群(先導3科目、学域2科目、アソシエイト8科目)の中から4科目8単位を履修します。</p> <p>2. 先導科目3科目、学域2科目のうち2科目を選択必修とします。ただし選択必修には先導科目を最低1科目含むこととします。</p>		
ホームページ・問い合わせ先等	<p>サステナビリティ・サイエンス研究機構 担当:上須 道徳(うわす みちのり) 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-1 先端科学イノベーションセンター 先導的研究棟4F Tel 06-6879-4140 Fax 06-6875-6271 E-mail: edu@riss.osaka-u.ac.jp URL: <a href="http://www.riss.osaka-u.ac.jp/jp/activities/education.html">http://www.riss.osaka-u.ac.jp/jp/activities/education.html</a></p>		
説明会の日程	<p>平成20年4月7日 10:50～(豊中)基礎工学部国際棟Σ(シグマ)ホール 平成20年4月9日 14:40～(吹田)コンベンションセンター1F研修室</p>		
特記事項	<p>平成20年度は先導科目”Global Threats and Sustainability”が休講となります。</p>		

各プログラムの詳細については「プログラム紹介」の各プログラムの問い合わせ先にご照会下さい。

**発行者：大阪大学学生部（担当：学務課学務係）**  
**〒565-0871 吹田市山田丘 1-1 tel：06-6879-7107**



OSAKA UNIVERSITY



この用紙は人類環境浄化のため  
再生紙を使用しています。

001003